

ふちゅう歴史散歩

Vol.90

備後国府跡の出土品⑨ 硯すずりと転用硯てんようけん



古代の食器（須恵器）



器に残る墨の痕跡（丸囲み）



転用硯（須恵器杯蓋・杯身）

古くから、筆を使って字を書くときには硯を使います。備後国府跡の発掘調査でも硯が多く出土していますが、一見すると硯に見えないものも出土しています。もともと食器として作られた、須恵器の杯蓋や杯身などを逆さまにして硯として使ったものです。これらを転用硯といいます。

食器を転用硯だと判断するポイントは何かというところ、器に残る墨の痕跡と墨を擦った際の磨滅です。使い込まれた転用硯は器に墨の黒い跡が残ります。また本来ザラザラな手触りの器の表面がツルツルで、指が滑るような感触がします。資料館フェスタでは、転用硯に、実際に触れることができます。感触を確かめにお越しください。

転用硯に触れるコーナーも！

資料館フェスタを開催

とき 10月27日(土) 10時30分～

16時・28日(日) 10時～15時

ところ 府中市歴史民俗資料館

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その47



投稿者（文と写真）

府中東高校2年生
荒木彰英くん

「受け継がれてきた誇り」

私たち府中東高校写真部は、1年かけて府中市の観光マップを作ろうと思い、制作に取り組んでいます。そして、完成した観光マップは、来年の6月に開催される文化祭で発表したいと考えています。夏休みにも写真部で、府中市内を散策しました。この活動をきっかけに、府中の隠れた名所が発見できるかもしれません。観光スポットにとらわれず、“気に入った景色”を見つけながら、オリジナルの観光マップに仕上げたいと思います。

「日本一の石灯籠」はいつ見ても、見応えのある迫力を感じさせてくれます。府中市内にも、“日

本一”があることを誇りに思います。代々受け継がれてきた文化や遺産を大切に、後世に受け継いでいかなければいけません。



平成30年10月1日(1241)号

広報ふちゅう

(毎月1日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

公式SNS
facebook



府中市メール配信
サービス

